

地層で、浸食された結晶片岩の上に積もった地層です。結晶片岩は近くの五百川の岸で観察されます。

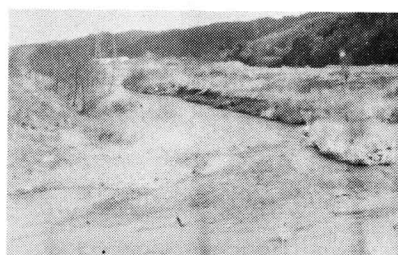
2、川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

五百川の五百川橋

(2) 土手の上から川原の様子や水の流れを観察する。

① 土手の上から川の全景をスケッチする。



② 川原や川岸の様子などを書き入れる。

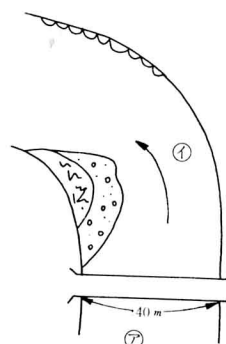
③ 川の流れが大きく曲がる所で、岸が、けずられているのは、内側か外側か調べよう。他に、川の曲がる所で川岸のけずられている所がないかどうか調べる。

また、その原因について考える。

(3) 川原に下りて、流水のはたらきを調べる。

① 川原から向こう岸に進むにつれて、深さはどう変わるか考える。

② 水中のぞき箱で川底に積もっている砂やレキの大きさなどが、川原から向こう岸に進むにつれどのように変わるか考える。



また、川底の近くで砂が流されている様子を観察し、川原のレキはどのような時に流されるのか話し合う。

③ ⑦の近くで10mの長さを測り、流速を測定する。また、①の所で、内側と外側とで流速を測定し、流速のちがいと川底の深さ、川底のレキの大きさ、川岸のけずられ方の関係を考えて、まとめておく。

(4) 川原のレキを調べる。

川原でレキや砂のつり方が平均的である所を選び、1 m四方の方形枠で囲う。